

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	令和3年3月17日 午後7時00分から午後8時30分まで
3 会場	武石地域自治センター2階 第1会議室
4 出席者	池内俊郎会長、金子るり子副会長、池内万雄委員、荻原輝夫委員、金井修一委員、金井律子委員、小林明美委員、小山和博委員、小山ひろえ委員、城下昌史委員、鈴木三千夫委員、滝沢友子委員、橋詰明德委員、橋詰正江委員、依田せつ子委員 【欠席委員3名】
5 市側出席者	大平地域自治センター長、滝沢地域振興課長、樋口教育事務所長、半田係長、小山市民サービス課長、佐藤産業建設課長、宮下商工観光担当係長、坂部地域政策担当係長、増田主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年 月 日
協 議 事 項 等	

1 開 会 (金子副会長)
2 あいさつ (池内会長)
3 報告・協議事項
(1) 令和3年度 わがまち魅力アップ応援事業について
・ 武石地域継続事業〔武石上本入熊沢峠(古道)の復活、自然、歴史を活用した交流事業〕 1件 令和2年度計画した事業がコロナ感染防止対策により未実施であるため、令和3年度に実施したいというもの。
【質問・意見等】
特に意見なし。出席委員全員の賛成により承認
(2) 武石地域総合センターの完成及び開所について (地域振興課説明)
(3) 武石公民館図書室の利用について (武石地域教育事務所説明)
(2)(3) 一括説明審議
【質問・意見等】
(委員) 3階の大会議室・研修室の貸し出しはしないのか。また、各部屋の収容人数はどうか。
(教育) 武石地域の総合センターとしての機能を集約した建物としており、3階部分は庁舎管理でその他の施設は公民館管理となる。予約制で団体利用はできるので、地域の皆さんも利用してほしい。公民館が予約窓口なので、そちらで予約願いたい。
各部屋の利用人数は、現在コロナ感染防止対策により収容人数は半数にしている。
①通常収容人数 ②コロナ対策人数
1階：コミュニティホール ①230 ②107
2階：第一会議室 ①30 ②14 ・第二会議室 ①25 ②10 ・多目的室 ①35 ②15 ・調理実習室 ①35 ②15 ・学習室 ①15 ②7
3階：大会議室 ①80 ②36 ・研修室 ①20 ②9
コロナ対策のため当面は制限させていただいている。(コロナ感染が落ち着くまで)
(会長から地域住民からの問い合わせを基に協議会として、図書室・学習室利用に関する検討について 添資料 2-1 2-2 2-3 により説明)

(会長) 武石は図書室であり図書館にはなっていない。資料 2-1 の項目 3 中の適切な位置とは。

(教育) 地理的な位置ではなく、行政区分としての位置と解釈している。(距離的なものではない。)

武石地域の現在の図書室の面積は 111 m<sup>2</sup>で、図書冊数は 9,000 冊であるが、上田市としては、図書館法により公立図書館の運営上の規定を設けており、図書館にするための条件を武石地域に当てはめると、

武石地域の人口 3,500 人に対し

- ・床面積 482 m<sup>2</sup>が必要 (371 m<sup>2</sup>不足)
- ・冊数は 28,500 冊が必要 (19,500 冊不足)
- ・常駐職員は 3 名必要になる。(現在兼務職員 1 名、3 名不足)

(会長) その他に収蔵内容等についての基準はあるのか

(教育) 収蔵等の中身的な基準は、

- ・年間貸し出し件数
- ・年間受け入れ図書冊数
- ・購入雑誌数
- ・視聴覚資料数

などがあり、図書館法のホームページの中に図書館としての基準が表記されるシステムがあるので、武石地域に当てはめた条件を申し上げたものです。

(会長) 第二次上田市図書館基準構想について、第 2 章中に平成 28 年 6 月～7 月に各図書館の利用者アンケート調査をしているが、武石図書室利用者のアンケート調査を行っていない理由は何。

(教育) 上田市としては、あくまで図書館及び分室の利用者を対象としているため、武石の図書室は対象外である。

(会長) 第 5 章 6 章の今後の図書館のあり方・運営方針にも、武石図書室がないがその理由は何。

(教育) このことについても、上田市に現在開設されている図書館及び分室についてのものであり、武石の図書室は、図書館ではないため対象外である。

(会長) 「地域とともにある図書館として、新しい学びの場をいかに地域とともに構築していくのかについて検討するとともに、運営や機能、役割分担を明確化するなど、効果的で効率的な図書館の実現に向けて取り組みます。」と明確な方向性が示されているにもかかわらず、武石の図書室がないことが疑問に思う。実際、武石の図書室には本があって利用者がいるのだから、武石の図書室をどうするのか、このまま図書室としていくのか、なくす方向なのか、丸子図書館の分室として運営していくのか、何らかの方向性を示してほしい。

図書館行政としての武石図書室の方向性について書面化されたものはあるのか。

(教育) 文書があるのか調べている状況。

武石図書室として残す。なくすことはない。現に武石地域総合センター内に図書室を設けている。

(会長) 基本構想の中に武石図書室の具体的な方向性については明記されていない。ただ文末に「上田図書館創造館分室と武石公民館図書室は、地域図書館的な役割を担っており、更なる図書館サービスの向上につながるよう検討します。」とあることから、上田市(武石地域)として武石の図書室の具体的な『施設』『サービス』『運営』について方向性・方針を出し、明記してほしい。

(教育) わかりました。

(会長) [資料 2-1 の内容を基に] 図書室運営の中心的な課題であるが、土日(祭日含)の営業について等 3 項目の問い合わせをしたところ、回答は、土日(祭日含)の営業は管理・監督上難しいとの回答であったが、土日(祭日含)の運営を望む地域住民、特に小中学生の利用の声が強く、土日

に集まる理由があるはずである。住みよい武石をつくる会とも話をさせていただいたが、「地域の図書室とする位置づけならば、事故・保安等危機管理運営上の課題はあるが、住民参加・市民協働によるボランティアが可能ならば、すみよい武石をつくる会としても運営に前向きに検討したい。」との回答を得ている。

実は「土日の運営について、地域住民ボランティアの参加ができるような仕組み・方向性」を示した回答を市に期待したが「図書館でないから土日（祭日含）の運営はできない」とバサッとやられてしまった。

教育委員会には、市としての運営が難しいなら、市民参加ボランティアによる土日の図書室を使用させてもらう方法も考えてほしい。課題は多いと思うが、皆で研究、議論し考えていけばよい。ぜひ教育委員会でも市民参加・市民協働の観点から前向きな検討をお願いしたい。

(教育) 検討する。だめだと決めつけてはいない。

(会長) 地域の中で様々な知的活動を育成していくための図書室利用は大切な役目もあると思う。

土日の運営を開始しても、利用者がいないことには進まない話だが、今後、色々な住民組織、機関と意見交換して、方向性を考えていこうということ。

(教育) 土日の運営をして、果たして利用者があるだろうか。希望者数を把握することも必要に思うが。

(会長) 確かに武石図書室の利用者や貸し出し数は他と比べても少ないが、数で判断するものでもないと思う。しかし、武石地域の図書文化を育成し考えていこうということ。

(委員) 家の孫は、武石がやっていないので今は丸子図書館へ行っている。武石が土日の運営をすれば武石へ行く。そう思っている住民はいるはず。

(会長) 私がなぜ図書（本）にこだわっているのかというと、上田地域には本の文化が少なく、私は読みたい本は東京へ行って買い求めていた。これでよいのかと思った。子供たちに本に親しむ文化を伝えたい。個人的な思いもあってこだわっている。

(委員) 学習室は誰でも自由に利用できるが、他の施設と比べて果たして新しくできる面積は 31 m<sup>2</sup>が妥当か？との思いもあるが、平日の小中学生の利用は学校の終業時間から図書室の閉館時間を考えると無理がある。土日なら利用できると思う。

また、今は、どこの図書館にどの本があるか検索でき、数日後には近くの図書館で借りられ、上田地域（東御市、坂城町、青木村、長和町）地域全体で借りられるシステムになっており、大変便利な時代である。武石図書室も土日の運営に併せて、だれにでも利用できるよう知恵を出そう。

(委員) 武石図書室も上田地域全体で本を借りられるシステムになればよいと思う。

(会長) 学習室の土日利用についても、管理等の課題が多いので、それらも含めて方向性を見つけていこうということで、今からスタートしていく話である。

(センター長) 武石図書館に対し真剣な議論に感謝する。

地域的・距離的条件から見れば、例えば鹿教湯地区と武石地域は同程度の距離にあり、丸子図書館の区域になるとする見方もあるが、武石地域総合センターに図書室が再建できよかったと思っている。

今まで、土日利用の話はなかったと記憶しているが、主管は教育委員会だが武石地域自治センターとしても、課題は多いが一層の利用促進に向け努力していきたいと考えているし、地域の皆さんの積極的な利用を期待したい。

(会長) 図書室が新しくなったことをチャンスにして武石地域の図書文化を進めていければよいと思っている。

教育委員会には、はっきりとした方向性を示してほしい。

(委員) 学習室利用について期待をしている。住みよい武石をつくる会でも協力するとの回答であるが、ぜひ地域住民参加で利用促進のため、住みよい武石をつくる会とも協議して進めてほしい。

【会長が今後も引き続き関係者と意見交換しながら進めていくことでまとめる。】

(4) 岳の湯温泉 雲溪荘のあり方について (産業建設課)

(会長) エリアトークで2回、チラシも各戸配布したが、現状の利用率は70%落ち込んでいる状況である。雲溪荘だけではなく、うつくしの湯、番所ヶ原スキー場についても同じことがいえるため、今後検討していく課題である。

(市) 令和元年度【資料3-1・3-2】上田市指定管理者モニタリング評価について説明

【質問・意見等】

(会長) 次回から検討していくので、配布してある資料をよく読み込んでいただきたい。

(5) その他

①令和3年度 第1回地域協議会の日程について

日時：4月21日(水) 午後7時から

場所：武石地域自治センター 3階大会議室

②住みよい武石をつくる会からのお知らせ

新庁舎移転に伴うエリアトーク機器の移転について、3月23日の朝までは放送できるが、その後移転工事のため夜からしばらく使用できなくなる。機器の点検ができしだいエリアトークで再開の周知をする。

4 閉会 (金子副会長)